

|          | No | チェック項目  | はい   | いいえ  | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|----------|----|---|------|------|---|
| 環境・体制設備  | ①  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか                                  | 100% | 0%   |   |
|          | ②  | 職員の配置数は適切であるか   | 0%   | 100% | ■保護者様からの声ん位もありましたが、高学年の男性利用者が増えてきていることから、職員としても、もう1名男性職員を追加して欲しいとの要望は法人に伝えてあります。それと同時に、男性の学生アルバイトも採用し、同性介助で支援にあたるよう最大限配慮していきます。 |
|          | ③  | 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか                            | 0%   | 100% | ■1階部分で幼児から高校生まで入り口を共有する作りになっているなど建物の構造上安全配慮の面で気になる部分はあるが、使用する時間をずらして事故を防止する等、職員の対応で工夫している。                                      |
| 業務改善     | ④  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか                | 100% | 0%   |   |
|          | ⑤  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 100% | 0%   |   |
|          | ⑥  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか                           | 100% | 0%   |   |
|          | ⑦  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 0%   | 100% | ■放課後等デイサービスとしては第三者評価を行っていませんが、保護者様のアンケートや日々の要望もお聞きし、より良い施設運営を図っていきます。   |
|          | ⑧  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 75%  | 25%  | ■児童発達支援事業所とコアタイムが異なるため、合同での研修の機会は少ないものの、放課後等デイサービスの職員で別途研修の機会を設けるなどして対応している。  |
| 適切な支援の提供 | ⑨  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0%   |   |
|          | ⑩  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 75%  | 25%  | ■今年度から個別面談に伴って半年に一度、統一のアセスメントシートを用いており、個別支援計画作成や日々の支援に活用している。   |
|          | ⑪  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 100% | 0%   |   |
|          | ⑫  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 100% | 0%   |   |
|          | ⑬  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 75%  | 25%  | ■一人ひとりの課題に応じて、活動についても学年や発達段階で異なる活動をするなど、より細やかに課題を設定していきます。  |
|          | ⑭  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | 75%  | 25%  | ■個別活動だけにフォーカスしすぎることなく、適宜集団での活動や子ども同士関わられるような活動を組み合わせられるよう配慮していきます。  |
|          | ⑮  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 100% | 0%   |   |
|          | ⑯  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか        | 100% | 0%   |   |
|          | ⑰  | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | 100% | 0%   |   |
|          | ⑱  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                  | 75%  | 25%  | ■面談時以外の送迎時などでも、支援計画に基づいて職員間で話し合った事項等ある場合はその都度保護者様にも報告していきます。  |

|  |   |  |      |      |   |
|--|---|--|------|------|---|
|  | ⑱ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ<br>せて支援を行っているか  | 75%  | 25%  | ■考慮して話し合い活動は決定していますが、一辺倒な内容にならない<br>ように、学年や発達段階に応じて活動を変えるなど工夫をしています。  |
| 関係機<br>関や保<br>護者<br>との<br>連<br>携               | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に<br>その子どもの状況に精通した最もふさわしい者<br>が参画しているか                         | 100% | 0%   |   |
|  | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交<br>換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整<br>（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適<br>切に行っているか | 100% | 0%   |   |
|  | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合<br>は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている<br>か                                 | 50%  | 50%  | ■現在は施設利用時に医療的ケアが必要な利用者はいませんが、医療的<br>ケアの必要な方を受け入れる際には必要な連絡体制は整えていきます。  |
|  | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ<br>ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有<br>と相互理解に努めているか                     | 100% | 0%   |   |
|  | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か<br>ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、<br>それまでの支援内容等の情報を提供する等して<br>いるか     | 25%  | 75%  | ■今現在成人施設へ移行する利用者はいないが、今後保護者様や自傷<br>所様からの要望があるなど、情報提供の必要性があれば提供してい<br>きます。   |
|  | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援セン<br>ター等の専門職機関と連携し、助言や研修を受<br>けているか                             | 100% | 0%   |   |
|  | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の<br>ない子どもと活動する機会があるか  | 75%  | 25%  | ■新型コロナ流行後、児童館は利用していないが、地域の公園やお買<br>い物活動などで地域の人や子と触れ合う機会はあります。   |
|  | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加して<br>いるか   | 100% | 0%   |   |
|  | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子<br>どもの発達の状況や課題について共通理解を<br>持っているか                            | 100% | 0%   |   |
|  | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者<br>に対してペアレント・トレーニング等の支援を<br>行っているか                           | 0%   | 100% | ■いわゆるペアレント・トレーニングという形では行っていないもの<br>の、個別の相談に随時応じて一緒に考え助言したり、研修会を開くなど<br>しています。                                     |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>責<br>任<br>等 | ⑳ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について<br>丁寧な説明を行っているか  | 100% | 0%   |   |
|  | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適<br>切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                      | 75%  | 25%  | ■今後も保護者様のお話を丁寧に聞き、職員内で情報共有をして支援の<br>方法を検討しお伝えする等、丁寧な支援を心がけていきます。  |
|  | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開<br>催する等により、保護者同士の連携を支援して<br>いるか                              | 50%  | 50%  | ■今年度は保護者会としては開催していないものの、事業所内イベン<br>トや一般公開イベント等の行事で保護者様同士の交流ができる場があ<br>りました。来年度以降も、保護者研修やイベント等交流ができる場を<br>作っていきます。 |
|  | ㉓ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体<br>制を整備するとともに、子どもや保護者に周知<br>し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し<br>ているか    | 100% | 0%   |   |
|  | ㉔ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予<br>定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対<br>して発信しているか                          | 100% | 0%   |   |
|  | ㉕ | 個人情報に十分注意しているか   | 100% | 0%   |   |
|  | ㉖ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情<br>報伝達のための配慮をしているか   | 100% | 0%   |   |

|         |   |   |      |      |   |
|---------|---|---|------|------|---|
|         | ⑳ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 100% | 0%   |   |
| 非常時等の対応 | ㉑ | 緊急時対策マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 0%   | 100% | ■カトレアと連携も取りながら保護者に分かりやすいような説明・対応を検討していきます。  |
|         | ㉒ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 100% | 0%   |   |
|         | ㉓ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 100% | 0%   |   |
| 非常時等の対応 | ㉔ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 100% | 0%   |   |
|         | ㉕ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか  | 25%  | 75%  | ■指示書が必要になるアレルギーを持つ利用者は今は在籍していませんが、該当するような利用者がいらっしゃれば適切に対応させていただきます。また、活動等でアレルギー物質を用いる際には再度確認をしています。 |
|         | ㉖ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 100% | 0%   |   |